

肉腫診断に資する抗体開発と検査方法の検討・開発

1. 研究の対象

2020年1月1日から2026年9月30日までに骨軟部腫瘍の手術を受けられ、「Cancer Cell Port がん細胞バンクの構築」の研究に同意いただいた方のうち、脱分化型脂肪肉腫、高分化型脂肪肉腫、脂肪腫、その他の良性軟部腫瘍のいずれかと診断された方

2. 研究目的・方法

大阪国際がんセンターが所有する患者肉腫組織の細胞培養試料を用いて抗体を選抜します。そして、上記抗体の診断効果を、大阪国際がんセンターが採取した骨軟部腫瘍患者由来血液検体を用いて検証します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、病理診断名

試料：手術で摘出した組織、血液

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究期間への試料・情報の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で直接手渡しを行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

肉腫組織培養

大阪国際がんセンター 整形外科（骨軟部腫瘍科）若松透

大阪国際がんセンター 次世代がん医療開発センター 吉田恵一

解析責任者

住友化学株式会社 バイオサイエンス研究所 青木幹雄

検体の測定

住友化学株式会社 バイオサイエンス研究所 島田有彩、井阪 亮、伊波伽奈子

リンパ球の選別、リンパ球抗体の作製

株式会社細胞工学研究所 立花太郎、吉村小緒利

6. 研究の資金源等、研究に係る利益相反に関する状況

『本研究は、住友化学株式会社との共同研究契約により、共同研究費を受けて実施します。研究責任者および研究分担者には、開示すべき利益相反はなく、本研究の利益相反は、当センターの利益相反委員会にて適切に管理いたします。また、本研究の結果について学会や論文等で発表する場合は、本研究と関係がある企業との全ての利益相反について

適切に開示します。』

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者

大阪国際がんセンター 整形外科（骨軟部腫瘍科） 竹中聰
住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69
電話：06-6945-1181

研究代表者：大阪国際がんセンター 整形外科（骨軟部腫瘍科） 竹中聰

-----以上